

賑岡地区社会福祉協議会広報誌

# にぎおかの住民ふくし

第10号  
平成29年3月1日  
発行  
賑岡町社会福祉協議会  
会長 林 博之  
(大月市社協内)  
電話 23-2001

## 平成29年度 赤い羽根 共同募金運動

皆様より

ご協力いただきました!!!

(平成28年10月1日～12月31日)

赤い羽根の募金活動は、まちの人のやさしい気持ちを集める活動です。あなたのやさしさが、あなたの声かけが、あなたの行動が、きつと、まちを変えていくはじめの一步となるはずですよ。きつと、きつと、きつと、良いまちになりますように。

全国的に毎年恒例となっている赤い羽根共同募金運動が、今年度も10月1日～12月31日まで実施されました。

募金は、民間の地域福祉を支える活動に使われています。具体的には、ふれあいいきいきサロンの運営や市内各地区老人憩いの家備品整備及び修繕事業、子どものあそび場整備事業などに使われているほか、友愛訪問事業やボランティア育成事業など、大月市内の地域のための事業から障がい者作業所などの社会福祉施設の整備・改修まで、様々な民間社会福祉活動を支援しています。特に、賑岡地区社協で実施している、あんしんカード事業や地域見守りマップの推進をはじめ、各事業にもこの共同募金が充てられています。

賑岡地区では、毎年、区長さんや自治会長さんに取りまとめていただき、たくさんの方の思いを頂いています。ありがとうございます。今年度も、皆様にご協力をお願いしています。運動が実施できている中で、賑岡地区の募金活動は、人のやさしい気持ちを集める活動です。それでは賑岡地区住民の皆様!!! 今後とも、宜しくお願いします。



赤い羽根共同募金



共同募金モデル事業における小学生との協働作業を行いました

10月9日(金)、昨年度に引き続き、大月東小学校敷地内において、大月・真木地区社協と大月東小学校との協働作業として、プランターの花植え作業を行いました。この取り組みは、山梨県共同募金会のモデル事業として実施したものです。プランターには大月東小学校6・3年生の描いた地域への思いなどのメッセージで彩られ、綺麗な花をさらに引き立ててくれています。このメッセージ付きのプランターですが、大月商店街を中心に、賑岡地区、大月地区の商店や医療機関、福祉施設などに募金箱とともに設置しています。(募金箱は12月末に回収しました) また、そのプランターへの水やり

賑岡地区に対する、主な共同募金の使い道

募金年度	事業年度	地区	事業内容
20	21	東奥山	テレビ一式
21	22	神倉	テレビ一式
22	23	ゆりヶ丘	老人憩いの家 座卓テーブル整備
23	24	岩殿	老人憩いの家 屋根塗装
24	25	西奥山	老人憩いの家 カーペット張替
25	26	石動団地	集会場 カーペット張替
26	27	浅利団地	集会場 ガス給湯設備等
27	28	①強瀬、②上畑倉	①、②ともに老人憩いの家畳整備
28	29	①浅利、②日影	老人憩いの家 ①畳整備、②椅子等

### あんしんカード について

登録申し込み受付中!

高齢者世や一人暮らし高齢者の方、障がい者の方などを対象に、緊急時の「万が一」に備え、家庭内保管用と外出時の携帯用を作成発行します。

☆お問い合わせは☆

①賑岡地区社会福祉協議会  
電話 23-2001  
(大月市社協内)

または…

②お住まいの地域の  
民生委員さん



にご協力いただいている皆様、ありがとうございます。賑岡地区内の設置個所は、次のとおりです。  
【プランター設置個所(賑岡地区内)】  
(株)大月自動車学校(募金箱設置)・神宮橋バス停・賑岡診療所(募金箱設置)・(株)WIZnet第2工場・上畑倉公民館・福祉工房デザインピス(募金箱設置)・山口館(募金箱設置)・森屋荘(募金箱設置)・西奥山公民館前バス停・山の都福祉会募金箱設置)・浅利公民館・タイムリー・TEPCO葛野川PR館・ゆりヶ丘集会場前ロータリー  
《順不同・敬称略》



# 賑岡地区社協では 住民相互の ささぐえあいや 見守り 推進しています

地域見守りマップに  
取り組んでみよう!!!

【見守りマップとは】地域の「気になる人(支援が必要と思われる人)」と「その人への住民の関わりを地図に落とし込み、地域住民の繋がりなどを把握して、その地域の福祉課題等を見出すものです。」

【なぜ必要なの?】地域福祉を進めるには、「公助」に加えて「共助」と「自助」が機能しなければ効果的に進みません。公助のみに頼ると制度やサービスの隙間が生まれます。この隙間に対応できるのは、「住民同士の支え合い(共助)」です。

【見守りマップから調べること】  
・要支援者に誰がどのような事で関わっている?  
・助けあいのキーパーソン(世話焼きさんなど)はいる?  
・要支援者は、どのような自助努力をしている?  
・住民の皆さんが寄り集まる場所はどこですか?(畑、○○さんのお宅など)  
・地域にどのような生活課題がありますか?(高齢化、買い物、交通の便など)

これらを整理して、住民みなで要支援者への新たな支援方法を考えたり、地域の課題を抽出したりします。まずは、ご相談ください!!!



▶地域見守りマップに関する研修会の様子(平成27年7月)

## 近所たすけあい メッセージボード

9月10日(土) 東奥山の福祉工房  
デイサービスの秋祭りへお邪魔し、『近所助け合いメッセージボード』を設置して、大勢の来場者の皆さんに、近所の助け合いとしてしていること、できそうなことをメッセージカードへ記入していただきました。また、今回は、ボランティアとして福祉工房へ来場していた市議会議員の小林信保さんが、社協ブースのお手伝いをしてくれました。

今後の地区社協活動を進める上で重要なヒントとなり得る、賑岡地区内の住民をはじめ、皆さんの素晴らしい声を知ることができ、充実した取り組みになったと思っております。

## 社協活動の先進地視察へ行ってきました。 ともに支えあう地域づくりを

11月29日(火)に常任理事会、民生委員の皆さんと、地区社協の視察研修として、長野県駒ヶ根市社会福祉協議会へお邪魔してきました。駒ヶ根市社協は、小地域ネットワーク活動事業と称して、福祉マップを活用するなどして、小地域における住民福祉懇談会を定期的に開催しています。この取り組みは概ね、賑岡地区社協が進めている地域見守りマップと同様の取り組みですが、駒ヶ根市では、地域全体に浸透した活動となっていました。また、この取り組みに対する、地区社協の会長さんの熱い思いも聞くことができました。

賑岡地区社協にとっては、とても刺激を受けた、実りある視察研修になったと実感しています。



す。また福祉工房では、多くのボランティアさんにご協力をいただいて運営していました。このような形でボランティアを育成し、地域福祉に貢献されているんです!!!

賑岡町住民の皆さん、福祉工房の皆さん、市議小林さん、ありがとうございます。

今回皆さんから頂いたメッセージは、賑岡公民館へ掲示させていただきます。



▶福祉工房管理者池川さん(左2番目)、市議小林さん(左1番目)

## 賑岡地区住民福祉懇談会、盛大に開催!!!

大月市社会福祉協議会では、1月末~2月中旬にかけて、各地区社協と協働して、住民福祉懇談会を開催しました。賑岡地区においては、2月4日(土)に開催し、なんと70名以上もの多くの方々に参加していただきました。8グループに分かれ、素晴らしいアイデアや意見が沢山挙がっていました。

各グループから挙がった活動目標で、主なものは、「地域における高齢者世帯等への見守り活動などの見守り体制の強化」、「区会自治会単位における懇談会(地域見守りマップなど)の計画」、「健康教室など集いの機会の開催」、「要支援者に対する生活支援等」です。

この結果から、今後の賑岡地区社協の事業計画が見えてきます。今後一つひとつ、優先順位を見極めて焦らずに取り組んでいきたいと考えています。

なお、この懇談会の詳しい作業結果は、改めまして回覧で報告させていただきます。よろしくお祈りします。

## 助けられ上手な人になる!!!

近所同士の助けあいを推進しています

賑岡地区社協では、助け合い・支えあい啓発のためのポスターを作成しました。現在、各区の公民館・集会場などに掲示していただいております。人が困ったときに誰を頼るのか?…出かける際に、「留守をよろしくね!」などと言葉をお願ひして出かけたよかったですね?そんな人と人とのつながりを保っていきましょう。「遠くの親戚より、近くの他人」とはよく言ったものです。もちろん遠くにいる身内も頼れるかもしれませんが、とっさのときには近所さんに頼れるといいですよ!

ポスター掲示にご協力いただける方募集しています。宜しくお祈りします!



**困ったとき、あなたは誰を頼りますか?**

**絆**

「遠くの親戚より近くの他人」ということわざがあるとお聞きのことわざにはご近所さんです。住居同士、お互いに助け合ってください!

賑岡地区社会福祉協議会  
2016.12.20(水) 大月市社会福祉協議会